

令和3年度

事業報告書

令和3年度 事業実績

I. 事業実績

(公益財団法人のこれまでの経緯)

世田谷区保健センター（以下、「保健センター」という。）は、昭和51年10月に財団法人として設立され、現在に至るまで区民の健康保持増進に資する総合的な健康診査、健康相談・指導及び教育、疾病予防に向けた検査・検診等の医療事業等を、区立保健センターを中心として展開してきた。平成12年4月より、区立総合福祉センターの管理運営を受託し、障害のある区民に向けた相談支援事業、機能訓練事業、交流等の地域支援事業等に裾野を広げ取り組んできた。平成23年2月には、より公益性の高い団体運営をめざし、公益財団法人に移行した。なお、平成30年度末の区立総合福祉センターの廃止に伴い、自立訓練事業等は「うめとぴあ」に設立された「東京リハビリテーションセンター世田谷」に移管したが、相談事業等は引き続き当財団が担っている。

令和2年4月には、区立保健センターが同じ「うめとぴあ」内の「世田谷区立保健医療福祉総合プラザ」へ移転するのに合わせ当財団も移転し、「世田谷区民の健康の保持増進、障害を有する区民の自立を図り、もって区民の福祉向上に寄与する。」との財団の目的達成に向けて事業の充実に取り組んでいる。

一方、令和2年初頭からの新型コロナウイルス感染症のまん延は、移転後の財団運営にも大きな影響を及ぼした。同年4月の「緊急事態宣言」を受け、電話等による相談事業や地域医療の後方支援としての検査業務を除き、多くの事業を約2～3ヶ月間休止とした。（緊急事態宣言解除後の6月以降は、感染予防対策を講じ順次事業を再開した。）

このような状況の中、令和2年度末には、この間の社会経済状況の変化や区の新実施計画（後期）（平成30年度～令和3年度）における外郭団体改革基本方針を踏まえ、今後の中長期的な経営方針として「世田谷区保健センター第三次経営ビジョン」（令和3年度～令和7年度）及び自主事業である「健康教育」「各種検（健）診等の医療事業」などを対象とする「世田谷区保健センター財務改善計画」を策定した。

(令和3年度の事業実施状況について)

令和3年度においても、依然として新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言等の影響を受け、一部事業の休止や縮小を余儀なくされたものの、大幅な事業休止には至らなかった。さらに、令和2年度に縮小していた事業定員等を概ね新型コロナウイルス感染症流行前の状況に戻したことにより、前年度に比べ事業実績が一定程度回復した。

令和3年度における新規・拡充事業等の実施状況は次のとおりである。

○がん対策事業

- ・地域出張型「がん相談」（対面、就労相談）の回数増による相談機会の拡充

○健康増進事業

- ・「地域健康講座」の対象を1地域から3地域への拡大
- ・区内中小企業を対象とする「職場のげんき力アップ」事業について、企業ニーズに合わせたプログラム工夫し提供
- ・生活習慣病の重度化予防対策として実施している「派遣型集団指導」を、郵送による資料配布と電話による指導へ変更（コロナ感染症予防対策）
- ・障害者向け健康づくり講座（施設内実施）の開催回数が増

○健康教育事業

- ・保健センターが開発した「世田谷いきいき体操」を活用した介護予防プログラムの全区展開
- ・保健センターが高齢者向けに開発した「スキマDeげんき体操」の高齢者団体での定着に向けた試行

○障害者相談支援事業

- ・高次脳機能障害相談支援における「東京リハビリテーションセンター世田谷」との連携強化等による相談支援の充実
- ・各種相談会・講演会、支援者養成講座、関係機関連絡会等の一部オンラインによる開催（コロナ感染症予防対策）

○こころの健康支援事業

- ・こころの健康に関する知識の普及啓発のための講演会等を新たに実施

○料金規程による事業

- ・障害者施設検診における生活介護施設の受け入れ

○その他

- ・世田谷区産業振興公社との協働による区内中小企業向け新型コロナウイルス対策ワクチン接種の実施
- ・保健医療福祉総合プラザにおける障害者のワクチン接種への協力

(令和3年度の決算状況について)

事業収益においては、移転後のリース・賃借料の減などにより保健センター管理受託収益が前年度比で2,200万円余り減額となったものの、自主事業の実績回復に伴い保険診療等事業収益、検体検査事業収益、料金規程等事業収益などが増収となったことにより、当期一般正味財産増減額は628万円余の黒字となった。

その一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度の経常収支が大きく落ち込んだことから、令和3年度の事業運営資金を確保するため、理事会の承認のもとで「経営安定積立金」から5,000万円を取り崩す対応を図った。現在取組みを進めている「世田谷区保健センター第三次経営ビジョン」や「世田谷区保健センター財務改善計画」の着実な実現を通じ、今後5年程度を目途に「経営安定積立金」を取り崩し前の1億円まで積み戻すことを目標にするとともに、コロナ禍による新たな生活様式等の拡がりを踏まえつつ、保健センター機能を支える財務基盤の強化を図り、区民の健康の保持増進と区民福祉の向上に寄与するという財団の目的達成に向けて経営改革を進めていく。

1 公益目的事業

公益 1 世田谷区民の健康の保持増進及び福祉の向上を図る事業

(1) 区立保健センター維持管理運営（定款第4条第1号事業）

区立保健センターの指定管理者として、区立保健センターの施設・設備並びに物品の維持管理運営に関する事務を実施した。

(2) がん対策事業（定款第4条第1号事業）

① がん検診受付センター

世田谷区の対策型がん検診等の受診を希望する区民の申込みや問合せの総合窓口として、従来の胃がん検診（エックス線・内視鏡）に加え、乳・大腸・子宮・肺・前立腺の各がん検診やB型・C型肝炎ウイルス検診、胃がんリスク（ABC）検査の申込受付及び受診票発券等を行った。なお、一部検診を除き、事業休止を行わなかったなどの理由により令和2年度に比較し2～5割程度申し込みが増えた。

[表1]

事業項目	年度	令和3年度	令和2年度	元年度
		実績	実績	実績
胃がん検診（エックス線）		4,066 件	3,390 件	4,384 件
胃がん検診（内視鏡）		14,202 件	11,678 件	11,091 件
乳がん検診		5,778 件	3,332 件	
子宮がん検診		6,689 件	5,541 件	
大腸がん検診		8,166 件	7,140 件	
肺がん検診		2,705 件	2,080 件	
胃がんリスク検査		407 件	337 件	
前立腺がん検診		1,077 件	905 件	
B型・C型肝炎検査		2,328 件	2,209 件	
合 計		45,418 件	36,612 件	15,475 件

② 胃がん検診

エックス線撮影による胃がん検診は、40歳以上の区民（1年に1回）を対象に、保健センター施設内およびデジタル撮影システムの検診車で行った。

内視鏡による胃がん検診は、50歳以上の区民（2年に1回）を対象に、地域の指定医療機関で行っており、保健センターも指定医療機関（区内90機関）のひとつとして検査を実施するとともに、世田谷区胃内視鏡検診運営委員会の事務局支援を行った。

また、検診の結果により、必要な区民に対しては、精密検査の受診を勧奨した。

[表2]

事業項目		年度	令和3年度			令和2年度		元年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
胃がん検診 (エックス線)	回数		481回	355回	73.8%	350回	273回	440回
	受診者数		4,700人	3,175人	67.6%	7,000人	2,289人	4,038人
	がん発見数		—	0人	—	—	2人	7人 (5人)
胃がん検診 (内視鏡)	回数		45回	35回	—	—	35回	36回
	受診者数		170人	147人	86.5%	200人	144人	155人
	がん発見数		—	0人	—	—	1人	0人

※ 【胃エックス線検診】 申込数 3,583 人(受診率 88.6 %)、要精検数 356 人(要精検率 11.2 %)

【胃内視鏡検診】申込数 147 人(受診率 100.0 %)、要精検数 4 人(要精検率 2.7 %)

※ がん発見数は令和4年3月末日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は()に記載のとおり。

③ 乳がん検診

世田谷区では40歳以上で偶数年齢の女性区民（2年に1回）を対象として視触診とマンモグラフィ（乳房エックス線撮影）の併用検診を指定医療機関に委託して行っている。

保健センターの乳がん検診は、地域の指定医療機関で視触診を受けた後に保健センターでマンモグラフィを行う場合と、保健センターで視触診とマンモグラフィを同日に行う場合の2つの検診パターンを整えて2通りの方法で実施した。

[表3]

事業項目		年度	令和3年度			令和2年度		元年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
乳がん検診	回数		150回	118回	78.7%	200回	129回	171回
	マンモグラフィ		350人	122人	34.9%	430人	159人	225人
	視触診・マンモグラフィ		1,300人	1,226人	94.3%	1,000人	1,009人	1,093人

※ マンモグラフィ申込数 125 人(受診率 97.6 %)、要精検数 11 人(要精検率 9.0 %)

※ 視触診・マンモグラフィ申込数 1,244 人(受診率 98.6%)、要精検数 208 人(要精検率 17.0%)

④ がん検診等精度管理

区が対策型検診として実施する5つのがん検診（胃・大腸・肺・乳・子宮）及び胃がんリスク検査について、精度管理（事業評価）を行った。

[表4]

事業項目		年度	令和3年度			令和2年度		元年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
センター実施 胃がん検診精度管理	件数	(精密) 1,000件	274件	27.4%	(精密) 1,000件	205件	520件	
	件数	(一次) 8,600件	9,020件	104.9%	(一次) 8,600件	6,083件	6,770件	
医師会実施 胃がん検診精度管理	件数	(精密) 100件	45件	45.0%	(精密) 100件	33件	76件	
	件数	(一次) 150件	12件	8.0%	(精密) 150件	22件	54件	
センター実施 乳がん検診精度管理	件数	(一次) 25,000件	22,010件	88.0%	(一次) 25,000件	18,697件	19,971件	
	件数	(精密) 1,500件	1,494件	99.6%	(精密) 1,500件	1,529件	1,408件	
医師会実施 乳がん検診精度管理	件数	(精密) 500件	320件	64.0%	(精密) 500件	198件	387件	
	件数	(一次) 50,000件	46,946件	93.9%	(一次) 50,000件	44,190件	46,710件	
センター実施 大腸がん検診精度管理	件数	(精密) 2,000件	1,603件	80.2%	(精密) 2,000件	1,739件	1,619件	
	件数	(一次) 40,000件	41,054件	102.6%	(一次) 40,000件	34,696件	34,461件	
医師会実施 子宮がん検診精度管理	件数	(精密) 600件	325件	54.2%	(精密) 600件	455件	429件	
	件数	(一次) 65,000件	56,992件	87.7%	(一次) 65,000件	54,818件	58,840件	
医師会実施 肺がん検診精度管理	件数	(精密) 1,500件	987件	65.8%	(精密) 1,500件	1,286件	1,370件	
	件数	(一次) 9,500件	7,151件	75.3%	(一次) 9,500件	7,731件	8,236件	
医師会実施 胃がんリスク検査集計	件数	(精密) 1,500件	643件	42.9%	(精密) 1,500件	885件	927件	

※ 医師会実施がん検診精度管理の実績は、令和3年度中に記録処理を行った数である。

(一次検診のデータ取得には、検診日から3か月以上の期間を要する。)

⑤ がん相談

「がん相談」等では、がん患者とその家族のつらい気持ちや困りごとを専門の相談員がうかがい、一緒に考え安心して療養するためのお手伝いをおこなう事業である。

「がん情報コーナー」では、区民等に対し、がんに関する書籍の閲覧、各種関係事業のチラシ、資料等の提供のほか、専門スタッフによるがんに関する様々な相談（予約不要／平日）に対応し、必要に応じ対面相談などを紹介している。

「対面相談」では、がん患者や家族の方（いずれか区民であれば可）を対象とし、専門の看護師による相談をおこなった。（予約制／毎月第2土曜日）

「電話相談」では、専門の看護師による相談（毎月第1、3木曜日）及びがん体験者等によるぴあ相談をおこなった（毎月第2、4木曜日）。

「就労相談」では、がん患者の方が仕事を続ける上で抱える不安や問題に関する看護師、社会保険労務士による相談をおこなった。

[表5]

事業項目		年度	令和3年度			令和2年度		元年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
がん情報コーナーの運営及び相談	平日 9 時～17 時 (年末年始・祝日除く)	平日 9 時～17 時 (年末年始・祝日除く)			がん情報コーナー の設置		—	
	相 談 件 数	—	33 件	—	—	34 件	—	
対面相談	施設内 (回数) (オンライン相談を含む)	23 回	21 回	91.3%	24 回	20 回	21 回	
	(最大受入件数72件) 件数	—	27 件	—	—	19 件	24 件	
	地域出張型 (回数)	1 回	1 回	100%	—	—	—	
	件数	—	2 件	—	—	—	—	
電話相談	(回数)	48 回	46 回	95.8%	48 回	45 回	45 回	
	(最大受入件数 192 件) 件数	—	47 件	—	—	46 件	23 件	
就労相談	※ 施設内 (回数)	2 回	2 回	100%	4 回	4 回	3 回	
	(最大受入件数 4 件) 件数	—	1 件	—	8 件	3 件	5 件	
	地域出張型 (回数)	3 回	3 回	100%	1 回	1 回	1 回	
	件数	—	4 件	—	—	2 件	3 件	

※就労相談／施設内は、対面相談／施設内と同時実施（再掲）

(3) 健康増進事業（定款第4条第1号事業）

① 健康度測定、運動負荷測定、健康増進指導等による多様な健康づくり

健康の維持及び積極的増進を図るため、18歳以上の区民を対象に各種検査と医師による指導及び栄養・運動・休養の総合的な指導を含めた健康度測定を実施した。測定項目のうち、

呼吸機能検査は感染症拡大防止のため中止した。また、運動負荷測定を行い、望ましい運動強度の目安を示した運動処方による実践指導を行った。健康増進指導では、新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底して、定員を削減して保健センター独自の定員基準(一人当たり6㎡)を設け、55講座を開催した。そのうち、壮年期世代をターゲットにした土曜・夜間に7講座を開催した。令和2年度のような事業休止を行わなかったため、健康増進指導は令和2年度に比較し2倍の実績となった。

[表6]

事業項目		年度	令和3年度			令和2年度		元年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
健康度測定	回数	—	69回	—	—	50回	70回	
	人数	1,000人	576人	57.6%	1,500人	521人	1,337人	
健康度再測定	人数(再掲)	—	9人	—	—	2人	4人	
運動負荷測定	回数	—	24回	—	—	21回	39回	
	人数	120人	47人	39.2%	150人	32人	128人	
健康増進指導	回数	—	357回	—	—	266回	393回	
	人数	7,500人	6,917人	92.2%	10,600人	3,477人	10,402人	
壮年期健康づくり教室	回数(再掲)	50回	41回	82.0%	50回	36回	47回	

※ 健康度測定(2次)受診総数 576人のうち、個別の休養指導(こころ・健康管理 567人)、栄養指導(食生活改善 566人)、運動指導(活動・運動方法 566人)を実施した。

※ 運動負荷測定受診者 47人のうち、運動処方参加者 30人に実践指導を行った。

※ 健康増進指導における指導内容の内訳は以下のとおり。

- ・トータルな健康づくり 140回(参加数 2,354人)
- ・心とからだの癒しと元気 16回(参加数 184人)
- ・食での健康 13回(参加数 193人)
- ・からだの元気 141回(参加数 3,256人)
141回の内、5回は外部講師を招いて特別教室として以下のテーマで実施した。
「ストレッチ&ソーシャルダンス教室」、「呼吸体操のメリットや効果・実技体験教室」
「口腔ケア教室」2回実施、「楊名寺八段錦・太極拳教室」
- ・壮年期向け(59歳以下対象) 41回(参加数 838人)
- ・障害者の健康づくり講座 6回(参加数 51人)
- ・個別相談 参加数 41人

② 専門職員の派遣による地域での健康づくり支援

実地指導では、地域の健康づくり活動を活発化させるため、運動指導員を自主団体の活動へ派遣し運動指導を行った。

地域健康講座では、世田谷・砧(鳥山)・玉川地域の3地域に講座を拡大した。

「職場のげんき力アッププログラム」は、事業所単位で取り組む健康づくりとして継続実施しており、企業のニーズに合わせたコースの導入などプログラムの多様化を図って提供を行った。

[表7]

事業項目		年度	令和3年度			令和2年度		元年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
実地指導	派遣数		1,130回	860回	76.1%	1,130回	622回	1,108回
	指導人数		—	8,978人	—	—	6,705人	16,123人
健康づくり支援	回数		100回	47回	47.0%	100回	95回	101回
地域健康 出前講座	回数		20回	3回	15.0%	20回	1回	15回
	人数		—	71人	—	—	10人	312人
壮年期対象 地域講座	回数		—	—	—	8回	4回	8回
	人数		—	—	—	—	44人	60人
地域健康講座	回数		12回	10回	83.3%	4回	4回	—
	人数		—	67人	—	—	42人	—
職場の げんき力アップ	件数		5社	2社	40.0%	5社	2社	5社

③ 健康づくり支援リーダーの養成・活動支援

地域で健康づくり活動を主体的に行う区民団体に対し、体操指導を支援する区民ボランティアリーダーとして、「せたがや元気体操リーダー」の養成と、スキルアップのための研修を実施した。このリーダー事業は、養成から派遣までをNPO法人健康フォーラムけやき21と協働で運営している。令和2年度に活動を休止していた団体が3年度になり活動を再開したためリーダーによる実地指導の実績が増加した。

[表8]

事業項目		年度	令和3年度			令和2年度		元年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
リーダー養成	人数		10人	11人	110.0%	—	—	9人
上級リーダー養成	人数		—	—	—	10人	【中止】	—
研修会(講座)	回数		10回	10回	100.0%	10回	10回	10回
研修会(指導実習)	人数		30人	26人	86.7%	30人	9人	29人
リーダー交流会	回数		6回	6回	100.0%	6回	6回	6回
リーダーによる実地指導	回数		320回	195回	60.9%	320回	14回	294回

※ リーダー養成と上級リーダー養成は、隔年で実施。

④ 生活習慣病の重度化予防を推進する取り組み

生活習慣病のリスクがある区民を対象に、国保年金課等と連携し重症化予防対策を展開した。このうち、「派遣型集団指導」については、新型コロナウイルス感染症予防対策として郵送での資料配布と電話での指導に変更して対応した。

[表 9]

事業項目			令和3年度			令和2年度		元年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
重症化予防対策	派遣型 集団指導	回数 人数	12回 —	【中止】		12回 —	【中止】 電話対応 4人	12回 32人
	個別指導	人数	20人	8人	40.0%	20人	2人	0人

※ 個別相談に、電話支援（6人）を含む。

⑤ 障害者の健康支援プログラム

地域で開催するリハビリ・スポーツ講座は世田谷地域の池尻で開催した。また、令和3年度は所内での障害者向け健康づくり講座を増やして開催した。

[表 10]

事業項目		令和3年度			令和2年度		元年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
リハビリ・ スポーツ講座	回数	7回	7回	100.0%	10回	10回	10回
健康づくり講座 (施設内)	回数	6回	6回	100.0%	3回	3回	—

(4) 健康教育事業 (定款第4条第1号事業)

① 地域の健康づくりの基盤を広げる各種健康イベント

毎年医師会、歯科医師会、薬剤師会との共催で、健康相談、歯科衛生講習会、薬事相談を実施していたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

保健センター主催の講演会・講習会では、心の健康づくりを目的に「森林浴のすすめ」と「坐禅体験講座」2回を感染症予防対策を講じて開催した。

[表 11]

事業項目		令和3年度			令和2年度		元年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
区民のための 健康教室	回数 人数	4回 —	【中止】		4回 —	【中止】	4回 1,386人
区民のための 糖尿病教室	回数 人数	1回 —			1回 —		1回 19人
歯っぴい& 健康フェスタ	回数 人数	1回 —			1回 —		1回 678人
くすりと健康の つどい	回数 人数	2回 —			2回 —		2回 352人
講演会・ 講習会	回数 人数	3回 —			3回 93人		100.0% —

② 健康情報の収集・活用・発信

健康情報の普及・啓発を目的とした情報発信として、健康情報紙「げんき人」の発行、ホームページ、エフエム世田谷による放送、世田谷区広報版、チラシなど様々な方法で情報発信を行った。

健康情報紙「げんき人」は、新聞折込み及び区施設等の窓口を通じて区民へ配布するなど、利用者を増やすための工夫を図った。また、健康づくり事業では、ホームページで動画等（コロナ感染症予防対策として）を発信した。

[表 12]

事業項目		年度	令和3年度			令和2年度		元年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
健康情報紙「げんき人」の発行	タブロイド判 2P		3回	3回	100.0%	3回	3回	2回
	タブロイド判 4P		1回	1回		1回	1回	2回

発行年月日	内 容	規 格 発行部数
2021.6.1 (第 106 号)	新しい生活様式の中での健康づくりできることから始めましょう！	タブロイド判 2 ページ 232,000 部
2021.9.1 (第 107 号)	「せたがや元気体操リーダー」活躍中！	タブロイド判 4 ページ 232,000 部
2021.11.15 (第 108 号)	「がん」と診断される人は増えている！？	タブロイド判 2 ページ 232,000 部
2022.3.1 (第 109 号)	保健センターでは、障害や乳幼児の発達、発育に関する相談をお受けします。	タブロイド判 2 ページ 232,000 部

また、保健センターの事業等を広く区民に知ってもらうために計画していたイベント事業は、いずれも新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

[表 13]

事業項目		年度	令和3年度			令和2年度		元年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
うめとぴあ 連携イベント	回 数		1回	【中止】	1回	【中止】	—	
	人 数		—		—		—	

③ 健康教育指導

区民の健康づくり支援を目的とし、定期的・継続的に運動を行う機会を提供するために、運動コース及び8種のマシンを用いた筋力アップトレーニングを開催した。令和2年度のような事業休止を行わず、定員等を制限しつつも感染予防対策を徹底しながら継続実施したため、実績は増えた。

[表 14]

事業項目		年度	令和3年度			令和2年度		元年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
運動コース	回数		400回	332回	83.0%	400回	130回	449回
	人数		—	9,201人	—	—	2,414人	15,721人
マシン トレーニング	回数		—	1,028回	—	—	511回	1,081回
	人数		9,000人	9,181人	102.0%	12,500人	4,146人	11,305人

※運動コースでは、保健センター独自の定員基準(一人当たり6㎡)を設け、定員を30名に限定、さらに、入れ替え時の接触を避けるため、開始時刻と終了時刻を工夫して実施した。マシントレーニングでは、運動コース同様の定員基準で10名定員に削減して開催した。

④ 出張指導

団体支援として、介護予防事業(筋力アップ教室、地域づくりによる介護予防、普及啓発講座)へ専門職種を派遣し、保健センターが開発した「世田谷いきいき体操」を取入れた指導を行った。その他、世田谷区職員厚生課などの団体から健康増進に関する実技指導等の依頼を受けて、専門職種を派遣する出張指導を行った。

また、世田谷区内の高齢者クラブに対して、保健センターが高齢者向けに開発した「スキマDeげんき体操」の運動定着支援を実施(試行)した。

[表 15]

事業項目			年度	令和3年度			令和2年度		元年度
				計画	実績	達成率	計画	実績	実績
出張 指導	介護予防 筋力アップ 教室	回数	3教室	3教室	100.0%	3教室	2教室	3教室	
		人数	—	192人	—	—	196人	209人	
	地域づくりによる 介護予防	団体数	10団体	1団体	10.0%	10団体	0団体	3団体	
	普及啓発講座 (はつらつ講座)	地区数	2地区	2地区	100.0%	2地区	2地区	2地区	
	その他の 出張指導	派遣人員	30人	18人	60.0%	40人	12人	30人	
	参加人員	—	295人	—	—	168人	1,043人		
	高齢者団体 運動定着支援	団体数	—	5団体	—	—	—	—	

※高齢者団体運動定着支援は年度途中から開始したため年度当初の計画数には計上されていない。

⑤ 地域連携、健康づくりグループとの交流

大学をはじめとする区内の学校等の実習受入れや、大学と連携した講習会を開催した。

しかし、これまで行ってきた健康づくり活動を20年継続している区民の自主グループ6団体への表彰については、新型コロナウイルスの感染予防観点から、区立保健医療福祉総合プラザ1階「ふれあいカフェうめとぴあ」内の専用コーナーにおいて掲示による表彰を行った。

[表 16]

事業項目	年度	令和3年度	
		内 容	期 日
大学等との連携		世田谷区医師会立看護高等専修学校実習受入	令和3年5月～11月 (延べ60日)
		東京聖栄大学実習受入	令和3年6月～7月 (延べ3日)
		東京農業大学実習受入	令和3年8月2日 令和3年8月3日
		武蔵野大学 ヘルスプロモーション実習受入	令和3年9月～10月 (延べ6日)
		駒澤大学仏教学部禅学科／坐禅講座講師派遣	①令和3年10月7日 ②令和3年10月9日
地域健康づくりグループとの交流		長期継続グループの表彰（6団体）	令和3年6月

⑥ 特定保健指導事業

「高齢者の医療の確保に関する法律」により、保険事業者（世田谷区国保）からの委託を受け、特定保健指導対象者に対して保健指導を行った。利用勧奨等は、保険事業者が対象者へ行っているが、支援数は伸びていない。

[表 17]

事業項目	年度	令和3年度			令和2年度		元年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
積極的支援	実人数	30人	16人	53.3%	30人	8人	12人
動機づけ支援	実人数	100人	72人	72.0%	100人	54人	89人

(5) 障害者相談支援事業（定款第4条第2号事業）

① 障害者専門相談

ア 電話・来所相談

区民や関係機関からの障害に関するさまざまな相談に対応し、適切な支援の検討や助言、障害に関する情報の提供・制度の紹介・関係機関との連絡調整等を行った。

[表 18]

事業項目	年度	令和3年度			令和2年度		元年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
相談件数		1,100 件	1,360 件	123.6%	1,100 件	1,129 件	1,514 件

イ 専門相談・評価・検査

(ア) 専門医相談

医療相談、身体障害者手帳診断、補装具意見書作成等を行った。

[表 19]

事業項目	年度	令和3年度			令和2年度		元年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
相談件数		190 件	176 件	92.6%	190 件	168 件	192 件

(イ) 専門職による面接・評価等

障害による生活上の困りごとに対して、専門職の面接・評価等を実施し、本人・家族・支援者に対して適切な対応方法等についての検討やアドバイスを行った。

[表 20]

事業項目	年度	令和3年度			令和2年度		元年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
面接・評価等		400 件	327 件	81.8%	400 件	332 件	300 件

(ウ) 知的障害者支援小グループ評価事業「りすた」

集団への適応評価や集団適応に向けた支援方法の見立てを行い、適切な支援につなげた。

[表 21]

事業項目	年度	令和3年度			令和2年度		元年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
ケース数		12 人	3 人	25.0%	12 人	2 人	3 人
評価実施数		96 回	47 回	49.0%	96 回	64 回	24 回

(エ) プレステップサポート事業

中途障害者の心身の健康維持増進を目的に、健康管理や運動適性、運動種目の適性等について、指導助言を行った。

[表 22]

事業項目	年度	令和3年度			令和2年度		元年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
ケース数		12人	9人	75.0%	12人	9人	7人
評価実施数		48回	37回	77.1%	48回	37回	9回

(オ) 補装具相談・シーティング相談・福祉用具相談・聴覚相談

理学療法士や言語聴覚士等による各種相談を実施した。聴覚相談以外は、必要に応じて訪問も行った。聴覚相談は前年度に比べキャンセルが減り大幅に実績が伸びた。

[表 23]

事業項目	年度	令和3年度			令和2年度		元年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
補装具相談		500件	469件	93.8%	500件	408件	495件
シーティング相談		180件	175件	97.2%	180件	173件	184件
福祉用具相談(日具)		160件	123件	76.9%	160件	161件	202件
聴覚相談(聴力検査含む)		85件	125件	147.1%	85件	91件	118件

(カ) 住宅改造相談

障害のある方が、自宅で安全な生活が送れるように、理学療法士等が訪問し住宅改造の相談、評価や助言等を行った。

[表 24]

事業項目	年度	令和3年度			令和2年度		元年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
相談・評価・助言等		60件	73件	121.7%	60件	57件	69件

ウ 障害者施設等への技術支援

障害者施設などへ専門職を派遣し、施設職員等に対して支援技術の向上のための助言指導を行った。

[表 25]

事業項目	年度	令和3年度			令和2年度		元年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
技術支援		300回	349回	116.3%	300回	260回	301回

エ 相談会・交流会・ネットワーク・支援者養成

障害のある当事者やその家族に向けて、相談会や交流会を開催した。また、区内の関係機関等との円滑な連携のためのネットワーク構築に向け各種専門職等の連絡会を開催した。支援者養成としては、福祉人材育成研修に講師を派遣した。

(ア) 相談会

[表 26]

事業項目	年度	令和3年度			令和2年度		元年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
相談会		5回	6回	120.0%	5回	4回	5回

(イ) 交流会

[表 27]

事業項目	年度	令和3年度			令和2年度		元年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
情報交流会(視覚)		12回	11回	91.7%	12回	7回	10回

(ウ) ネットワーク

[表 28]

事業項目	年度	令和3年度			令和2年度		元年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
関係機関との連絡会等		6回	6回	100.0%	6回	4回	6回

(エ) 支援者養成

[表 29]

事業項目	年度	令和3年度			令和2年度		元年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
講師派遣		6回	7回	116.7%	—	—	—

② 乳幼児育成相談

ア 発達・発育に関する評価、助言

乳幼児期の発達・発育に関する相談に対して、評価の結果に基づき児童発達支援事業に関する情報提供や適切な支援機関等への繋ぎを行った。

評価結果によっては、集団評価（親子支援グループ）として子どもの集団活動と保護者教室を並行して行った。

専門評価件数は、新型コロナウイルス感染症拡大による直前キャンセルなどの影響もあり計画数を下回る実績となった。一方、評価後の継続相談については、電話相談を中心に随時実施し、計画数を大幅に上回る実績となった。

[表 30]

事業項目		令和3年度			令和2年度		元年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
相談業務							
電話・来所相談		900 件	884 件	98.2%	900 件	708 件	847 件
インテーク		360 件	341 件	94.7%	360 件	308 件	367 件
専門評価							
個別評価	実人員	720 人	547 人	76.0%	720 人	511 人	630 人
	延件数	1,720 件	1,229 件	71.5%	1,900 件	1,348 件	1,525 件
集団評価	実人員	80 人	67 人	83.8%	80 人	106 人	87 人
	延件数	600 件	401 件	66.8%	600 件	752 件	900 件
継続相談【拡充】 電話・来所相談		300 件	463 件	154.3%	—	—	—

イ 児童関係機関との連携及び地域支援

区内児童発達支援拠点施設、関係機関等との連絡会に参加し、情報共有・意見交換を行った。

地域支援については、区健康づくり課の親子支援グループ（ぽんぽんキッズ）への専門職派遣は行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、幼稚園、保育所等への訪問・支援のキャンセルがあり、計画数を下回る実績となった。

[表 31]

事業項目		令和3年度			令和2年度		元年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
関係機関との連絡会		40 回	46 回	115.0%	40 回	34 回	41 回
地域支援		80 回	53 回	66.3%	130 回	50 回	117 回

③ 高次脳機能障害相談支援

ア 専門相談・評価

高次脳機能に何らかの障害がある、もしくは、その疑いのある方を対象に、専門医、作業療法士、言語聴覚士、心理士等が総合的な評価を行い、今後のリハビリテーションや生活改善についての専門的な助言や情報提供を行った。個別相談・評価は、令和元年度は総合福祉センターの自立訓練から東京リハビリテーションセンター世田谷に移行した方からの相談等が多かったが、その後は移行した方からの相談が減ったこと、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、計画を下回る実績となった。

小グループ評価「コンパス」では、就労するために必要なことや補完手段を提案する職業評価プログラム（週3回、4か月間）を実施した。

[表 32]

事業項目		年度	令和3年度			令和2年度		元年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
個別相談・評価	実人員		100人	50人	50.0%	100人	45人	実人員
	延件数		400件	324件	81.0%	400件	218件	189人
小グループ評価 「コンパス」	実人員		12人	6人	50.0%	15人	5人	延件数
	延件数		440件	166件	37.7%	500件	196件	823件

イ 支援者養成

高次脳機能障害者の支援者を養成するため、ガイドヘルパー養成講座、失語症会話パートナー養成講座を実施した。

[表 33]

事業項目		年度	令和3年度			令和2年度		元年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
高次脳機能障害者 ガイドヘルパー養成講座	実人員		20人	20人	100.0%	20人	4人	20人
	延人員		120件	120件	100.0%	120件	24件	120件
失語症会話 パートナー養成講座	実人員		8人	6人	75.0%	8人	8人	11人
	延人員		40件	31件	77.5%	40件	40件	55件

ウ 相談会・講演会

高次脳機能障害に関する区民向けの相談会や当事者・家族向けの講演会は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、会場での定員を減らして行った。

[表 34]

事業項目		年度	令和3年度			令和2年度		元年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
相談会・講演会			100人	47人	47.0%	100人	44人	94人

エ ネットワーク・地域支援

区内関係機関の円滑な連携や高次脳機能障害に関する全区的な課題解決のため、高次脳機能障害者関係施設連絡会を開催した。

また、講師を派遣し、障害者施設等の支援者に対し、障害特性の理解や環境調整などについて専門的な助言を行った。

失語症サロンは、平成17年度から養成してきた「失語症会話パートナー」を活用し、失語症のある方が会話パートナーと出会い、支援を受けながら会話を楽しむ場を提供した。保健医療福祉総合プラザでの実施に加え、当初計画になかった玉川・烏山地域でも実施でき計画を大幅に上回る実績となった。

[表 35]

事業項目	年度	令和3年度			令和2年度		元年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
地域支援・講師派遣・関係機関との連絡会		16回	15回	93.8%	16回	10回	17回
失語症サロン（3か所）		12回	21回	175.0%	12回	14回	11回

オ 失語症者向け意思疎通支援者派遣事業

失語症者の意思疎通を支援するため、失語症当事者と意思疎通支援者のマッチングを行い、支援者の派遣を行った。

[表 36]

事業項目	年度	令和3年度			令和2年度		元年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
失語症者向け意思疎通支援者派遣事業		24回	15回	62.5%	20回	7回	

(6) こころの健康支援事業（定款第4条第1号事業）

① こころの相談機能

こころの健康に関して気軽に相談できる窓口として、平日夜間・休日の電話相談を平日（月・水・木）は17時から22時まで、土曜日は14時から20時まで、平日の実施日が祝日の場合は17時から22時まで実施した。なお、相談内容により区の支援が必要な場合は、区の健康づくり課等への引継ぎを行った。

こころの健康づくりを支える人材育成として、ピア相談員養成講座（応用編）を実施するとともに、精神障害への理解の促進を図るため、保健センター内「こころの健康に関する情報コーナー」にこころの健康に関する書籍やリーフレット等を置き区民の利用に供した。

[表 37]

事業項目	年度	令和3年度			令和2年度		元年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
電話相談（平日夜間） （土曜日） 相談件数		154回	154回	100%	153回	155回	
		51回	51回	100%	52回	51回	
		—	2,521件	—	—	2,522件	
ピア相談員養成講座		1回	1回	100%	1回	1回	
こころの健康情報コーナーの運営		平日9時～17時 (年末年始・祝日除く)			こころの健康情報コーナーの設置		

② こころの健康に関する普及啓発【新規】

令和3年度より、こころの健康に関する知識の普及・啓発のため講演会等を実施した。

[表 38]

事業項目	年度	令和3年度			令和2年度		元年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
講演会・セミナー		6回	6回	100.0%			

- ※テーマ
- ・統合失調症
 - ・ストレス時代のこころの整え方
 - ・子どもの心を育てるコーチング
 - ・思春期の子どもの理解と関わり方
 - ・スマホ・ゲーム依存
 - ・アルコール依存を中心に～依存症セミナー

2 収益事業

収益 1 財団規程等に基づく健康診査・検査事業、地域医療を支援する事業、 専門技術支援事業

(1) 保険診療等による検査事業 (定款第4条第3号事業)

地域医療を支援するため、医療機関からの依頼にもとづき、保険診療による各種精密検査を実施した。

[表 39]

事業項目		年度	令和3年度			令和2年度		元年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
胃								
内視鏡検査	件数	1,100件	665件	60.5%	1,500件	521件	811件	
病理組織検査	件数	330件	200件	60.6%	500件	143件	220件	
大腸								
内視鏡検査	件数	200件	141件	70.5%	240件	93件	148件	
病理組織検査	件数	80件	43件	53.8%	100件	39件	63件	
乳房								
一般撮影	件数	280件	280件	100.0%	310件	192件	166件	
スポット撮影	件数	25件	56件	224.0%	30件	40件	12件	
超音波検査	件数	280件	387件	138.2%	340件	266件	282件	
細胞診検査	件数	25件	7件	28.0%	30件	1件	11件	
子宮								
細胞診検査	件数	140件	113件	80.7%	150件	113件	118件	
内視鏡検査	件数	140件	112件	80.0%	150件	113件	118件	
病理組織検査	件数	140件	112件	80.0%	150件	113件	117件	
MR I 検査	件数	1,500件	1,660件	110.7%	2,100件	1,390件	1,436件	
C T 検査	件数	2,000件	1,511件	75.6%	2,100件	1,290件	1,539件	
腹部超音波検査 (腹部・甲状腺・頸動脈)	件数	250件	153件	61.2%	280件	136件	163件	
心臓								
ホルター心電図	件数	20件	16件	80.0%	24件	14件	17件	
超音波検査	件数	180件	168件	93.3%	190件	106件	154件	

(2) 検体検査事業 (定款第4条第3号事業)

世田谷区と委託契約(単価契約)を締結し、子宮がん検診及び大腸がん検診の検体検査事業を実施した。

子宮(細胞診検査)は、区はこれまで偶数年齢を対象としていたが、令和3年度より国の指針に基づき年齢を問わない隔年受診に改善したことが件数増の要因と考えられる。

大腸(便潜血検査)の実績は、地域の医療機関において特定健診・長寿健診と便潜血検査との同時受診が可能となっているため、近年保健センターでの受診は減少傾向に加え、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えなどかなり減少したが、令和3年度は前年度に比較するとやや回復する結果となった。

① 子宮

[表 40]

事業項目		年度	令和3年度			令和2年度		元年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
細胞診検査	頸部件数		33,300 件	37,998 件	114.1%	32,000 件	33,155 件	30,240 件
	体部件数		2,100 件	4,045 件	192.6%	3,000 件	3,519 件	2,963 件
	がん発見数		—	11 人	—	—	24 人 (14 人)	14 人 (13 人)

※ がん発見数は令和4年3月末日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は()に記載のとおり。

※ 頸部件数には不適正標本3件を含み、このほか再提出として頸部3件の判定を実施した。体部件数には判定不能標本1件を含み、このほか再提出として体部1件の判定を実施した。

※ 頸部 受診人数 37,995 人、要精検者数 454 人(要精検率 1.2 %)

体部 受診人数 4,044 人、要精検者数 50 人(要精検率 1.2 %)

② 大腸

[表 41]

事業項目		年度	令和3年度			令和2年度		元年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
便潜血検査	件数		6,400 件	5,174 件	80.8%	8,000 件	4,558 件	5,704 件
	がん発見数		—	9 人	—	—	8 人 (3 人)	8 人 (5 人)

※ がん発見数は令和4年3月末日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は()に記載のとおり。

※ 受診人数 5,174 人、要精検者数 392 人(要精検率 7.6%)

(3) 料金規程等による事業 (定款第4条第3号事業)

財団料金規程等による事業として、企業健診等を実施した。

体成分分析測定については、壮年期世代の受診が増えたことにより計画数を大幅に上回る実績となった。なお、企業健診・個人健診においては、令和3年度途中から新たに生活介護施設利用者の健診を開始した。

[表 42]

事業項目		年度	令和3年度			令和2年度		元年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
小中学生 心臓精密検査	人数		100人	105人	105.0%	100人	138人	129人
小中学生 結核検診精密検査	人数		250人	251人	100.4%	250人	373人	325人
企業健診・ 個人健診 (障害者施設健診)	人数		2,500人	2,145人 (内92人)	85.8%	2,500人	1,889人	2,418人
脳ドック	人数		180人	155人	86.1%	180人	103人	148人
動脈硬化検査	人数		380人	385人	101.3%	450人	200人	492人
体成分分析測定	人数		100人	222人	222.0%	100人	156人	114人
骨密度測定	人数		250人	308人	123.2%	250人	176人	265人

(4) その他の技術提供事業 (定款第4条第3号事業)

① 住宅改修アドバイザー

自宅で安全な日常生活が送れるように、住宅改修を予定している高齢者宅を訪問し、相談に応じるアドバイザーとして理学療法士等を派遣した。

[表 43]

事業項目		年度	令和3年度			令和2年度		元年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
住宅改修アド バイザー派遣	回数		150回	100回	66.7%	150回	105回	119回

② 福祉施設等技術支援

障害のある方が入所もしくは通所している高齢者福祉施設等に専門職員を派遣し、障害特性の理解や介助方法、留意点等について技術的な助言指導を行った。

新型コロナウイルス感染症の関係で、専門職派遣先の高齢者施設の年間を通しての依頼見合わせや講師派遣先の講座の中止等により計画を大幅に下回る実績となった。

[表 44]

事業項目		年度	令和3年度			令和2年度		元年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
専門職員派遣	回数		50回	4回	8.0%	50回	11回	48回
講師派遣	回数		10回	5回	50.0%	—	—	—

以上のとおりであるが、令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和4年5月

公益財団法人世田谷区保健センター